

□特 集

平成 26 年人口動態統計（概数）の概要

合計特殊出生率が 0.02 ポイント減少

—全国は 0.01 ポイント減少—

悪性新生物（がん）・心疾患による死亡率が増加

—悪性新生物による死亡が総死亡数に占める割合の 30%を超える—

自然減少数は昨年に引き続き 5 千人を超える

—自然増減率は 0.3 ポイント減少し、依然として自然減少が続く—

府健康福祉総務課

はじめに

人口動態統計は、出生・死亡・婚姻・離婚及び死産の 5 種類の「人口動態事象」について、その実態を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的として実施されています。

出生、死亡、婚姻及び離婚については、「戸籍法」による届出書から、死産については、「死産の届出に関する規程」による届書等から、その届出を受けた市区町村長が調査票を作成します。

これらの調査票は、保健所長、都道府県を經由し、厚生労働省に提出されます。

厚生労働省では、これらの調査票の毎月分及び年間分を集計して、人口動態統計月報（概数）、人口動態統計年報として公表しています。

この概要は、平成 26 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの間における京都府分について取りまとめたもので、数値は概数です。

1 出 生

—出生数は前年より減少、出生率は 0.2 ポイント減少—

平成 26 年の出生数は、1 万 9,583 人で前年より 523 人減少しました。

出生率（人口千対）は 7.6 で、前年に比べ 0.2 ポイント減少しました。

出生数の推移をみると、第 1 次ベビーブーム期（昭和 22 年～24 年）の、団塊の世代が誕生した時期は 5 万人台で推移していましたが、その後急激に減少し、昭和 32 年には 2 万 6,688 人まで低下しました。その後、昭和 41 年（ひのえうまの年）を除いて増加に転じ、昭和 48 年には第 2 次ベビーブーム期のピークを迎えましたが、以後減少傾向が続いています。（表 1、図 1）

表 1 人口動態総覧、対前年比較

	実 数					率		率（全国）	
	平成 26 年	平成 25 年	増 減	増減割合(%)	平均発生間隔	平成 26 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 25 年
出 生	19,583	20,106	△ 523	△ 2.6	26 分 50 秒	7.6	7.8	8.0	8.2
死 亡	25,505	25,332	173	0.7	20 分 36 秒	9.9	9.8	10.1	10.1
（乳児死亡）	35	52	△ 17	△ 32.7	250 時間 17 分	1.8	2.6	2.1	2.1
（新生児死亡）	15	29	△ 14	△ 48.3	584 時間 0 分	0.8	1.4	0.9	1.0
自 然 増 減	△ 5,922	△ 5,226	△ 696	13.3	…	△ 2.3	△ 2.0	△ 2.1	△ 1.9
死 産	446	440	6	1.4	19 時間 38 分	22.3	21.4	22.9	22.9
婚 姻	12,672	12,746	△ 74	△ 0.6	41 分 28 秒	4.9	4.9	5.1	5.3
離 婚	4,463	4,581	△ 118	△ 2.6	1 時間 57 分	1.74	1.78	1.77	1.84

注 1 平成 25 年は確定数

2 出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は日本人人口千対、乳児・新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対

3 算出に用いた京都府の人口は、平成 26 年 = 2,569,000 人（「平成 26 年 10 月 1 日現在推計人口（日本人）」）

4 自然増減：出生数から死亡数を減じたもの

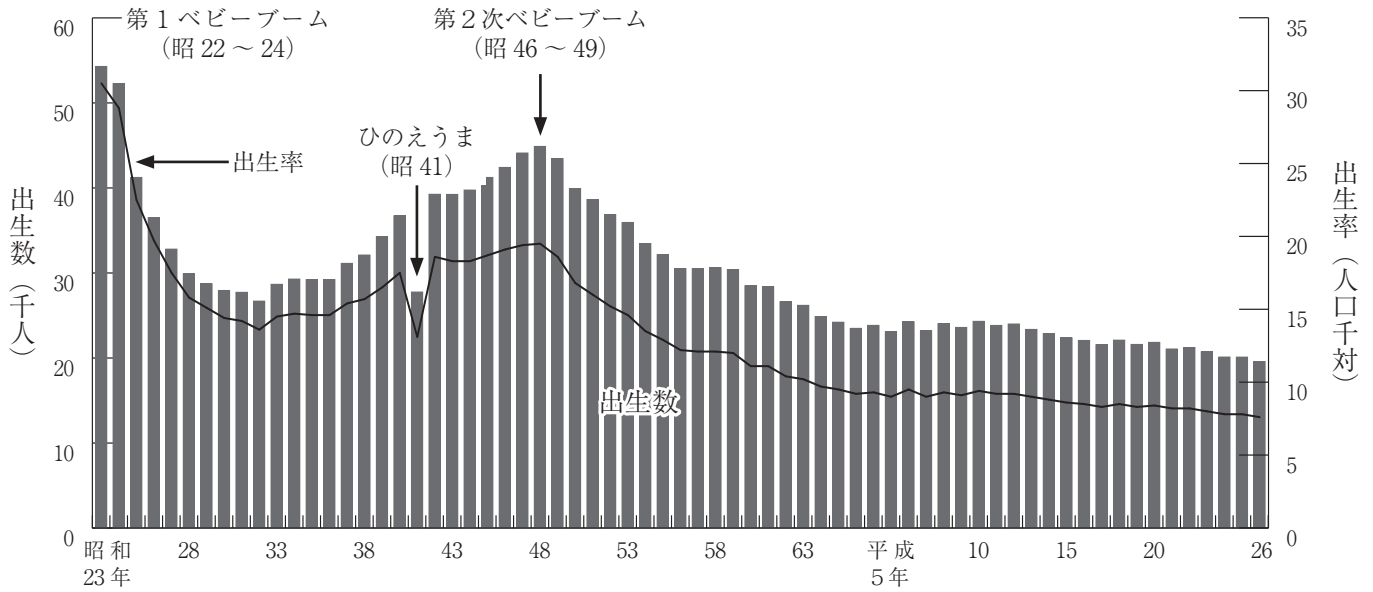
5 乳児死亡：生後 1 年未満の死亡数

6 新生児死亡：乳児死亡のうち、生後 4 週未満の死亡数

7 死産：妊娠満 12 週以後の死産の出産

8 平均発生間隔：1 件当たりの事象発生が、どれだけの間隔をもって発生したかを表したもの

図1 出生数・出生率の年次推移



合計特殊出生率は 1.24

ー前年より 0.02 ポイント減少

全国は 0.01 ポイント減少ー

平成 26 年の出生率を母の年齢階級別にみると、最も出生率が高かったのは、30～34 歳の層で、出生率は 95.3（出生数 7,146 人）となりました。

30～34 歳の出生率は、昭和 53 年以降上昇傾向にあり、平成 12 年には、25～29 歳の層を上回り、その後も出生数・率とも第 1 位となっております。

第 2 位は、25～29 歳の層で、出生率は 64.4（出生数 4,894 人）となりました。25～29 歳は昭和 47 年（出生率 213.8）をピークに低下傾向が続いています。

第 3 位は 35～39 歳の層で、出生率 53.8（出生数 4,738 人）となり、上昇傾向が続いています。

第 4 位は 20～24 歳の層で出生率 20.8（出生数 1,494 人）となり、出生率については、平成 25 年、平成 26 年は微増となりました。（図 2）

図2 母の年齢階級別出生率の年次推移（人口千対）

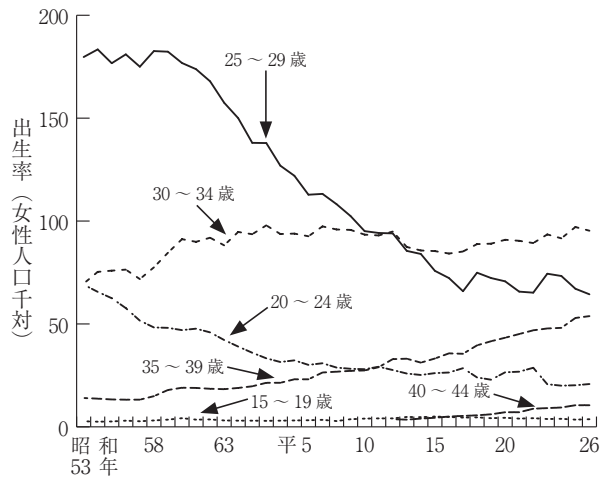


表2 合計特殊出生率の推移

年次	京都府	全国
昭和 40 年※	2.02	2.14
45 ※	2.02	2.13
50 ※	1.81	1.91
55 ※	1.67	1.75
60 ※	1.68	1.76
平成 2 年※	1.48	1.54
7 ※	1.33	1.42
12 ※	1.28	1.36
17 ※	1.18	1.26
18	1.19	1.32
19	1.18	1.34
20	1.22	1.37
21	1.20	1.37
22 ※	1.28	1.39
23	1.25	1.39
24	1.23	1.41
25	1.26	1.43
26	1.24	1.42

※は国勢調査年

合計特殊出生率とは、その年の 15 歳から 49 歳までの女性の年齢別出生率を合計した値で、その年の女性の年齢別出生傾向が将来も変わらないと仮定した場合、1 人の女性が一生の間に生む平均の子供の数の数に相当します。

2 死 亡

ー死亡数は増加、死亡率は0.1ポイント上昇ー

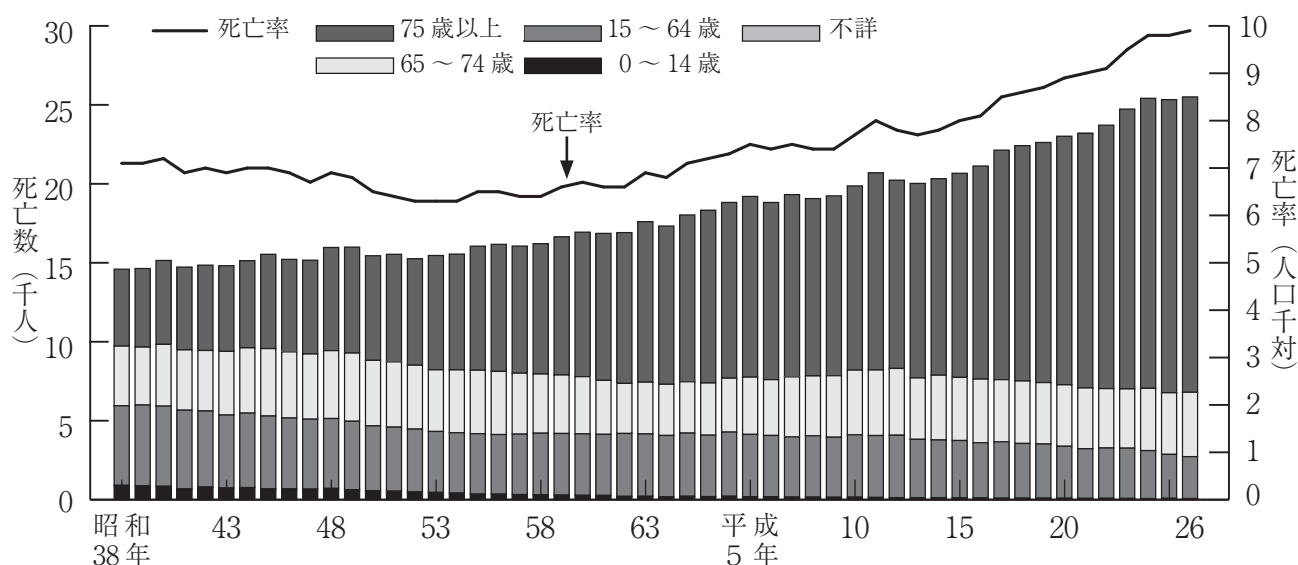
平成26年の死亡数は2万5,505人で、前年より173人増加し、死亡率（人口千対）は9.9で、前年より、0.1ポイント上昇しました。

（表1、図3）

死亡数の推移をみると、昭和44年以降1万5千人～1万9千人台で推移していましたが、平成11年に2万人台となって以後、ゆるやかな増加傾向が続いています。

年齢別死亡数では、0～64歳の世代は前年を下回りましたが、65歳以上の世代は増加しました。死亡率は昭和35年（死亡率7.7）以降低下傾向にあり、52～54年に3年連続6.3と戦後最低を記録した後、ゆるやかな上昇に転じ、平成13年（同7.7）以降は増加傾向が顕著になり、平成26年は過去最高となりました。（図3）

図3 死亡数・死亡率の年次推移



3 死 因

ー3大生活習慣病のうち、悪性新生物(がん)・心疾患による死亡率が増加ー

死因順位の第1位は、悪性新生物（がん）で、7年連続で増加し、平成26年の死亡数は7,730人で、前年より81人増加、死亡率（人口10万対）は300.9で、前年より4.0ポイント上昇しました。悪性新生物による死亡が総死亡数に占める割合は30.3%でした。

第2位は心疾患の4,146人で、前年より17人増加、死亡率は161.4で、前年より1.1ポイント上昇しました。第3位は肺炎で、平成26年の死亡数は前年より25人減少の2,393人、死亡率は0.8ポイント減少し、93.1となりました。

第4位は脳血管疾患の2,103人で、死亡率は81.9となり、前年より3.2ポイント減少しました。

第5位は老衰で、死亡数は1,370人、第6位は不慮の事故で、死亡数は543人でした。自殺は、

死亡数が449人となり、前年より49人減少しました。自殺死亡率は17.5でした。

また、悪性新生物、心疾患及び脳血管疾患の3大生活習慣病による死亡が総死亡数に占める割合は、54.8%となりました。（表3、図4）

ー悪性新生物(がん)部位別トップは「肺」ー

悪性新生物（がん）の主な部位別死亡率（人口10万対）をみると、第1位は前年に引き続き「肺」で死亡率は64.7で、前年より1.0ポイント上昇しました。

第2位は平成25年から引き続き「大腸」で死亡率は38.6で、前年より0.7ポイント減少しました。

第3位は「胃」で死亡率は38.3で前年より0.2ポイント上昇しました。第4位は「肝」で、死亡率は24.6で、前年より2.4ポイント減少しました。

また、肺、大腸、胃の上位3疾患で悪性新生物死因総数の47.1%を占めています。（図5）

表3 死因順位

死因順位	平成26年	死亡数(人)	死亡率	死亡総数に占める割合(%)	平成25年	死亡数(人)	死亡率	全国(26年)	死亡数(人)	死亡率
第1位	悪性新生物	7,730	300.9	30.3	悪性新生物	7,649	296.9	悪性新生物	367,943	293.3
2	心疾患	4,146	161.4	16.3	心疾患	4,129	160.3	心疾患	196,760	156.9
3	肺炎	2,393	93.1	9.4	肺炎	2,418	93.9	肺炎	119,566	95.3
4	脳血管疾患	2,103	81.9	8.2	脳血管疾患	2,191	85.1	脳血管疾患	114,118	91.0
5	老衰	1,370	53.3	5.4	老衰	1,303	50.6	老衰	75,340	60.1
6	不慮の事故	543	21.1	2.1	不慮の事故	583	22.6	不慮の事故	39,011	31.1
7	腎不全	538	20.9	2.1	腎不全	542	21.0	腎不全	24,747	19.7
8	自殺	449	17.5	1.8	自殺	498	19.3	自殺	24,398	19.5
9	慢性閉塞性肺疾患	364	14.2	1.4	慢性閉塞性肺疾患	375	14.6	大動脈瘤及び解離	16,403	13.1
10	大動脈瘤及び解離	298	11.6	1.2	大動脈瘤及び解離	295	11.5	慢性閉塞性肺疾患	16,160	12.9

注) 平成25年は確定数
死亡率は人口10万対である。

図4 主要死因別死亡率の年次推移

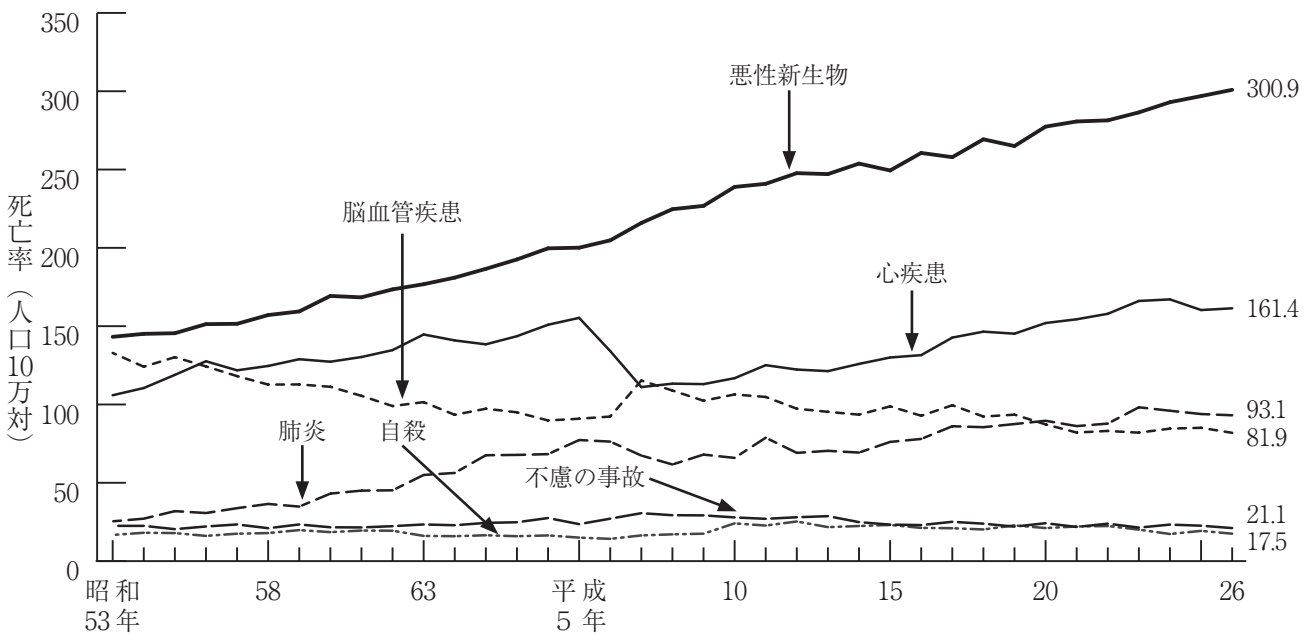
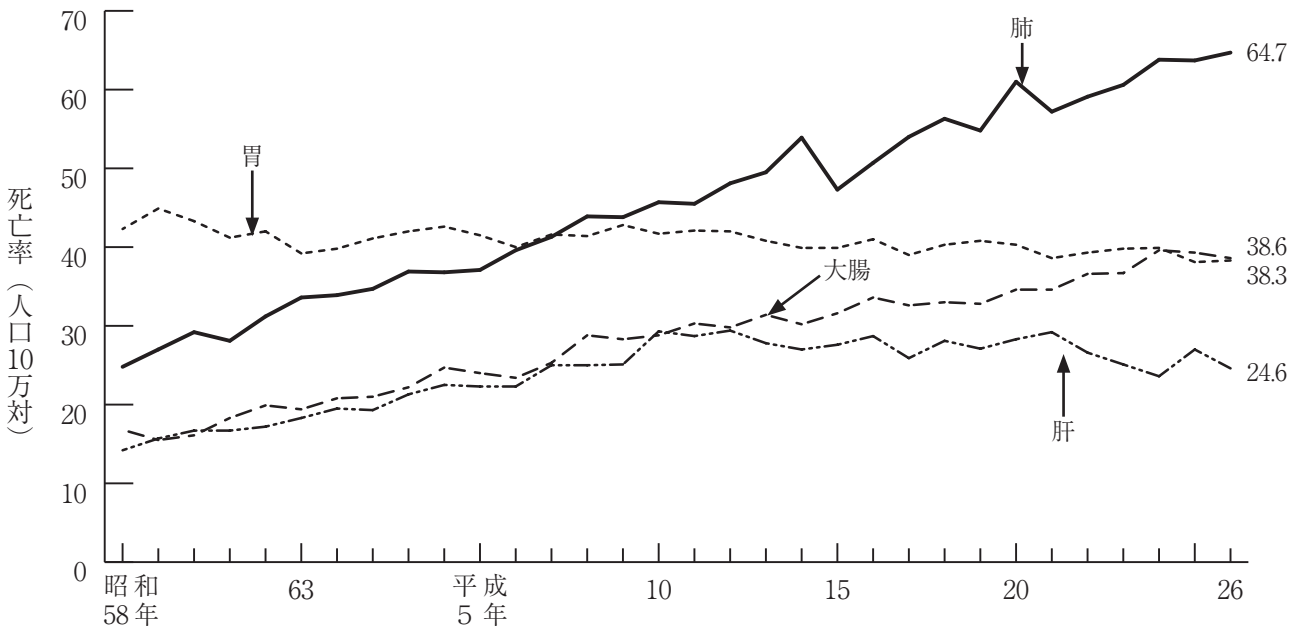


図5 悪性新生物(がん)の主な部位別死亡率の年次推移



男女別死亡率をみると、男の死亡率（人口10万対）は、「肺」が平成3年以降第1位で、26年は96.9となり、前年より2.8ポイント上昇しました。

第2位は「胃」で49.8と、前年より2.0ポイント減少しました。

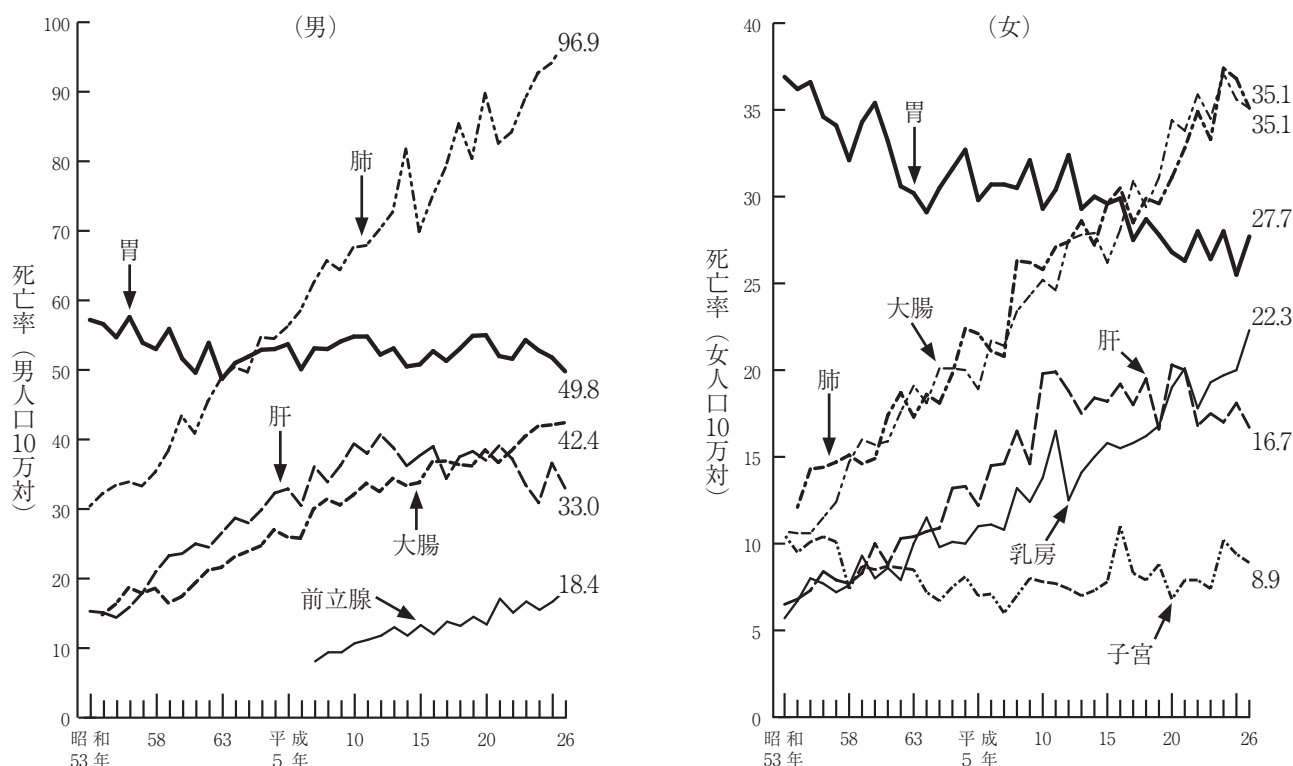
第3位は「大腸」で42.4、第4位は「肝」で

33.0となりました。

女の死亡率（人口10万対）は、「肺」と「大腸」が35.1で同率の第1位となりました。第3位は「胃」で27.7となりました。

「乳房」は22.3で、平成3年以降引き続き増加傾向にあります。「子宮」は8.9で、昨年より0.5ポイント減少しました。（図6）

図6 悪性新生物（がん）の性別・主な部位別死亡率の年次推移



- 注1 文中、図5及び図6において肺とは、気管、気管支及び肺の悪性新生物である。
 2 文中、図5及び図6において大腸とは、結腸と直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物である
 3 文中、図5及び図6において肝とは、肝及び肝内胆管の悪性新生物である。
 4 図6において大腸の昭和53年以前の数値は、旧厚生省で集計されていないため不明である。
 5 図6において前立腺の平成7年以前の数値は、旧厚生省で集計されていないため不明である。

4 乳児死亡・新生児死亡

ー乳児死亡率は0.8ポイント減少、新生児死亡率は0.6ポイント減少ー

平成26年の乳児死亡数は35人で、前年より17人減少し、乳児死亡率（出生千対）は1.8で、前年より0.8ポイント減少しました。

新生児死亡数は15人で、前年より14人減少し、新生児死亡率（出生千対）は0.8で、前年より0.6ポイント減少しました。（表1）

5 自然増減

ー自然減少数は昨年に引き続き5千人を超えるー

平成26年の出生数から死亡数を減じた自然増減数は、マイナス5,922人となり、依然として自然減少が続いています。減少幅は過去最大となり、

自然増減率（人口千対）はマイナス2.3で、前年のマイナス2.0から0.3ポイント減少しました。（表1）

6 死 産

—死産率は0.9ポイント上昇—

平成26年の死産数は446胎で前年より6胎増加、死産率（出産千対）は22.3と、前年より0.9

ポイント上昇しました。

（表1）

7 婚 姻

—平均初婚年齢 夫は31.3歳、 妻は29.7歳—

晩婚化 緩やかに進行—

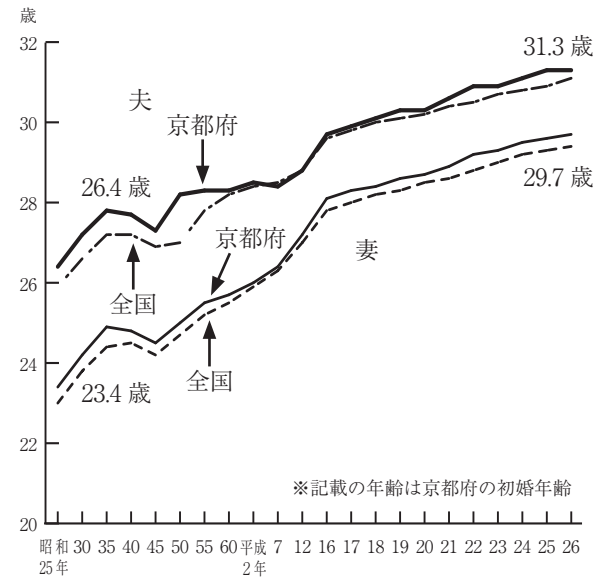
平成26年の婚姻件数は1万2,672組で前年より74組減少し、婚姻率（人口千対）は4.9で、前年と同じでした。（表1）

また、平均初婚年齢は、夫31.3歳、妻29.7歳で、男性は昨年と同じ、女性は0.1歳前年より上昇しました。

平均初婚年齢の推移をみると、昭和25年以降は上昇傾向が続き、昭和25年（夫＝26.4歳、妻＝23.4歳）と比べると、夫は4.9歳、妻は6.3歳上昇しており、男女とも晩婚化が進んでいます。

（図7）

図7 平均初婚年齢の推移



8 離 婚

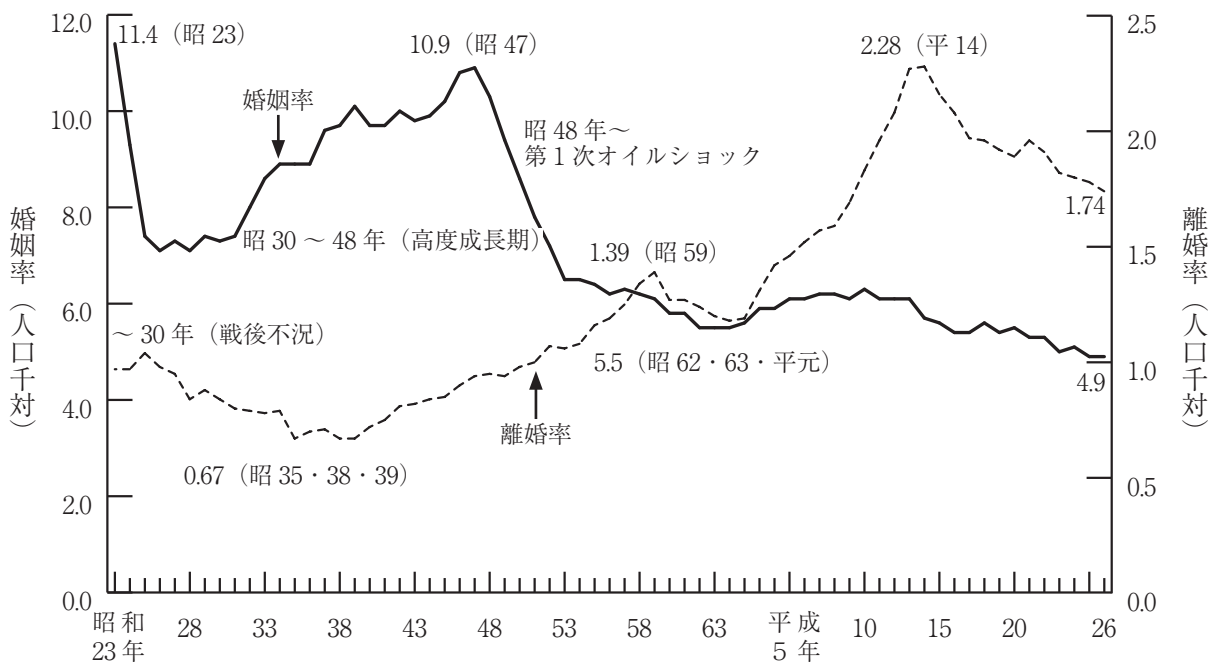
—離婚件数、離婚率ともに減少—

平成26年の離婚件数は4,463組で、前年より118組減少し、離婚率（人口千対）は1.74となり、前年より0.04ポイント減少しました。

離婚率の推移をみると、昭和35年、38年、39年

に戦後最低（離婚率0.67）となった後上昇し、60年以降低下していましたが、平成2年から再び上昇に転じ、平成14年には過去最高の2.28を記録し、その後は減少傾向が続いています。（図8）

図8 婚姻率・離婚率の年次推移



第1表 人口動態（概数）保健所、市町村別（平成26年）

区 分	出生数			死亡数			乳 児 死亡数	新生児 死亡数	死 産 数	婚 件	姻 数	離 件	婚 数	自 然 増加数
	総数	男	女	総数	男	女								
総 数	19,583	10,025	9,558	25,505	12,872	12,633	35	15	446	12,672	4,463	△5,922		
京 都 市	10,978	5,648	5,330	13,922	6,926	6,996	17	9	256	7,714	2,647	△2,944		
その他の市町村	8,605	4,377	4,228	11,583	5,946	5,637	18	6	190	4,958	1,816	△2,978		
乙 訓 保 健 所	1,252	634	618	1,204	601	603	—	—	30	727	224	48		
向 日 市	422	207	215	410	198	212	—	—	10	274	84	12		
長 岡 京 市	689	348	341	660	334	326	—	—	17	386	109	29		
大 山 崎 町	141	79	62	134	69	65	—	—	3	67	31	7		
山 城 北 保 健 所	3,244	1,646	1,598	3,859	2,079	1,780	7	1	63	1,913	730	△615		
宇 治 市	1,377	705	672	1,643	884	759	4	1	26	835	328	△266		
城 陽 市	532	286	246	755	403	352	—	—	7	363	114	△223		
八 幡 市	552	269	283	623	353	270	1	—	12	316	134	△71		
京 田 辺 市	559	267	292	485	251	234	—	—	10	248	82	74		
久 御 山 町	112	58	54	164	85	79	—	—	5	86	40	△52		
井 手 町	52	26	26	88	53	35	—	—	3	32	18	△36		
宇 治 田 原 町	60	35	25	101	50	51	2	—	—	33	14	△41		
山 城 南 保 健 所	896	461	435	899	454	445	2	2	15	453	183	△3		
木 津 川 市	620	304	316	537	259	278	2	2	11	295	127	83		
笠 置 町	—	—	—	20	9	11	—	—	—	3	1	△20		
和 束 町	14	10	4	64	37	27	—	—	—	17	6	△50		
精 華 町	260	145	115	220	120	100	—	—	4	127	46	40		
南 山 城 村	2	2	—	58	29	29	—	—	—	11	3	△56		
南 丹 保 健 所	946	482	464	1,545	779	766	3	1	12	518	209	△599		
亀 岡 市	658	331	327	771	382	389	2	—	8	360	155	△113		
南 丹 市	226	120	106	518	272	246	1	1	4	114	41	△292		
京 丹 波 町	62	31	31	256	125	131	—	—	—	44	13	△194		
中 丹 西 保 健 所	717	357	360	1,001	498	503	—	—	24	432	135	△284		
福 知 山 市	717	357	360	1,001	498	503	—	—	24	432	135	△284		
中 丹 東 保 健 所	892	444	448	1,567	786	781	4	1	30	572	205	△675		
舞 鶴 市	702	347	355	1,025	520	505	4	1	26	436	163	△323		
綾 部 市	190	97	93	542	266	276	—	—	4	136	42	△352		
丹 後 保 健 所	658	353	305	1,508	749	759	2	1	16	343	130	△850		
宮 津 市	107	60	47	335	160	175	—	—	—	57	30	△228		
京 丹 後 市	388	203	185	800	410	390	2	1	11	199	75	△412		
伊 根 町	13	7	6	44	19	25	—	—	—	6	2	△31		
与 謝 野 町	150	83	67	329	160	169	—	—	5	81	23	△179		

第2表 人口動態統計 実数及び率の年次推移

区 分	出 生		死 亡		乳児死亡		死 産		婚 姻		離 婚		自然増加	
	実 数	率 (人口千対)	実 数	率 (人口千対)	実 数	率 (出生千対)	実 数	率 (出産千対)	実 数	率 (人口千対)	実 数	率 (人口千対)	実 数	率 (人口千対)
昭和22年	53,828	31.0	25,686	14.8	3,705	68.8	2,429	43.2	18,294	10.5	1,750	1.0	28,142	16.2
23	54,287	30.5	19,892	11.2	2,866	52.8	2,920	51.0	20,285	11.4	1,727	1.0	34,395	19.3
24	52,248	28.8	19,638	10.8	2,058	39.4	4,313	76.2	16,916	9.3	1,765	1.0	32,610	18.0
25	41,236	22.5	17,850	9.7	2,079	50.4	4,587	100.1	13,643	7.4	1,903	1.0	23,386	12.8
26	36,493	19.7	16,341	8.8	1,804	49.4	4,452	108.7	13,168	7.1	1,813	1.0	20,152	10.9
27	32,802	17.5	15,417	8.2	1,401	42.7	3,943	107.3	13,705	7.3	1,788	1.0	17,385	9.3
28	29,907	15.8	15,562	8.2	1,237	41.4	3,672	109.4	13,388	7.1	1,591	0.8	14,345	7.6
29	28,717	15.1	14,139	7.4	1,089	37.9	3,516	109.1	14,109	7.4	1,673	0.9	14,578	7.7
30	27,943	14.4	13,797	7.1	909	32.5	3,319	106.2	14,079	7.3	1,630	0.8	14,146	7.3
31	27,724	14.2	15,081	7.7	963	34.7	3,285	105.9	14,488	7.4	1,560	0.8	12,643	6.5
32	26,688	13.6	15,549	7.9	843	31.6	3,234	108.1	15,685	8.0	1,556	0.8	11,139	5.7
33	28,665	14.5	14,356	7.3	811	28.3	3,455	107.6	17,041	8.6	1,535	0.8	14,309	7.2
34	29,282	14.7	14,610	7.3	818	27.9	3,479	106.2	17,651	8.9	1,577	0.8	14,672	7.4
35	29,194	14.6	15,265	7.7	747	25.6	3,356	103.1	17,709	8.9	1,327	0.7	13,929	7.0
36	29,213	14.6	14,866	7.4	746	25.5	3,372	103.5	17,960	8.9	1,410	0.7	14,347	7.1
37	31,129	15.4	15,080	7.4	695	22.3	3,468	100.2	19,459	9.6	1,437	0.7	16,049	7.9
38	32,108	15.7	14,555	7.1	638	19.9	3,399	95.7	19,931	9.7	1,379	0.7	17,553	8.6
39	34,258	16.5	14,613	7.1	612	17.9	3,395	90.2	20,941	10.1	1,396	0.7	19,654	9.5
40	36,703	17.5	15,109	7.2	587	16.0	3,284	82.1	20,310	9.7	1,520	0.7	21,594	10.3
41	27,755	13.1	14,732	6.9	475	17.1	2,858	93.4	20,513	9.7	1,587	0.8	13,023	6.1
42	39,254	18.6	14,813	7.0	573	14.6	2,902	68.8	21,160	10.0	1,718	0.8	24,441	11.6
43	39,240	18.3	14,868	6.9	521	13.3	2,882	68.4	21,098	9.8	1,755	0.8	24,372	11.4
44	39,750	18.3	15,135	7.0	575	14.5	2,813	66.1	21,440	9.9	1,822	0.8	24,615	11.3
45	41,235	18.7	15,577	7.0	481	11.7	2,704	61.5	22,621	10.2	1,871	0.9	35,658	11.6
46	42,413	19.1	15,279	6.9	494	11.6	2,692	59.7	24,143	10.8	2,000	0.9	27,134	12.2
47	44,107	19.4	15,208	6.7	454	10.3	2,535	54.4	24,826	10.9	2,135	0.9	28,899	12.7
48	44,885	19.5	15,995	6.9	478	10.6	2,509	52.9	23,850	10.3	2,201	1.0	28,890	12.5
49	43,438	18.6	15,986	6.8	433	10.0	2,379	51.9	21,851	9.4	2,192	0.9	27,452	11.8
50	39,921	16.8	15,460	6.5	353	8.8	2,192	52.1	20,514	8.6	2,329	1.0	24,461	10.3
51	38,636	16.0	15,544	6.4	344	8.9	2,359	57.5	28,738	7.8	2,401	1.0	23,092	9.6
52	36,870	15.2	15,260	6.3	303	8.2	1,995	51.3	17,507	7.2	2,599	1.1	21,610	8.9
53	35,943	14.6	15,464	6.3	289	8.0	1,810	47.9	16,031	6.5	2,590	1.1	20,479	8.3
54	33,464	13.5	15,553	6.3	240	7.2	1,698	48.3	16,117	6.5	2,661	1.1	17,911	7.2
55	32,139	12.9	16,059	6.5	209	6.5	1,622	48.0	15,916	6.4	2,884	1.2	16,080	6.5
56	30,498	12.2	16,174	6.5	200	6.6	1,662	51.7	15,571	6.2	2,980	1.2	14,324	5.7
57	30,493	12.1	16,059	6.4	194	6.4	1,522	47.5	15,794	6.3	3,134	1.3	14,434	5.7
58	30,627	12.1	16,214	6.4	193	6.3	1,435	44.8	15,776	6.2	3,382	1.3	14,413	5.7
59	30,390	12.0	16,637	6.6	181	6.0	1,325	41.8	15,370	6.1	3,529	1.4	13,753	5.4
60	28,479	11.1	16,942	6.6	143	5.0	1,360	45.6	14,932	5.8	3,248	1.3	11,537	4.5
61	28,358	11.1	16,864	6.6	148	5.2	1,282	43.3	14,839	5.8	3,241	1.3	11,494	4.5
62	26,603	10.4	16,912	6.6	121	4.5	1,252	44.9	14,025	5.5	3,179	1.2	9,691	3.8
63	26,192	10.2	17,608	6.9	135	5.2	1,093	40.1	14,076	5.5	3,071	1.2	8,584	3.4
平成元年	24,855	9.7	17,327	6.8	99	4.0	1,015	39.2	14,026	5.5	3,021	1.2	7,528	2.9
2	24,209	9.5	18,031	7.1	118	4.9	1,039	41.2	14,337	5.6	3,050	1.2	6,178	2.4
3	23,487	9.2	18,331	7.2	111	4.7	947	38.8	15,018	5.9	3,346	1.3	5,156	2.0
4	23,838	9.3	18,822	7.3	129	5.4	919	37.1	15,101	5.9	3,640	1.4	5,016	2.0
5	23,082	9.0	19,202	7.5	125	5.4	826	34.5	15,647	6.1	3,738	1.5	3,880	1.5
6	24,245	9.5	18,821	7.4	122	5.0	838	33.4	15,716	6.1	3,891	1.5	5,424	2.1
7	23,219	9.0	19,321	7.5	97	4.2	777	32.4	15,887	6.2	4,047	1.6	3,898	1.5
8	24,023	9.3	19,068	7.4	95	4.0	748	30.2	16,153	6.2	4,115	1.6	4,955	1.9
9	23,595	9.1	19,239	7.4	91	3.9	701	28.9	15,869	6.1	4,384	1.7	4,356	1.7
10	24,312	9.4	19,868	7.7	79	3.2	736	29.4	16,273	6.3	4,732	1.8	4,444	1.7
11	23,831	9.2	20,690	8.0	95	4.0	699	28.5	15,682	6.1	5,089	2.0	3,141	1.2
12	23,997	9.2	20,233	7.8	78	3.3	694	28.1	15,781	6.1	5,403	2.1	3,763	1.4
13	23,364	9.0	20,027	7.7	60	2.6	698	29.0	15,775	6.1	5,903	2.3	3,336	1.3
14	22,859	8.8	20,320	7.8	68	3.0	702	29.8	14,899	5.7	5,922	2.3	2,539	1.2
15	22,371	8.6	20,669	8.0	67	3.0	664	28.8	14,478	5.6	5,612	2.2	1,702	0.7
16	22,066	8.5	21,126	8.1	63	2.9	721	31.6	14,127	5.4	5,408	2.1	940	0.4
17	21,560	8.3	22,134	8.5	54	2.5	600	27.1	14,030	5.4	5,116	2.0	△ 574	△ 0.2
18	22,100	8.5	22,419	8.6	48	2.2	559	24.7	14,477	5.6	5,091	2.0	△ 319	△ 0.1
19	21,597	8.3	22,619	8.7	51	2.4	521	23.6	13,978	5.4	4,962	1.9	△ 1,022	△ 0.4
20	21,842	8.4	23,015	8.9	54	2.5	507	22.7	14,239	5.5	4,877	1.9	△ 1,173	△ 0.5
21	21,058	8.2	23,191	9.0	44	2.1	432	20.1	13,640	5.3	5,054	2.0	△ 2,133	△ 0.8
22	21,234	8.2	23,714	9.1	52	2.4	482	22.2	13,664	5.3	4,964	1.9	△ 2,480	△ 1.0
23	20,707	8.0	24,733	9.5	40	1.9	476	22.5	12,900	5.0	4,713	1.8	△ 4,026	△ 1.6
24	20,111	7.8	25,416	9.8	40	2.0	464	22.6	13,189	5.1	4,646	1.8	△ 5,305	△ 2.1
25	20,106	7.8	25,332	9.8	52	2.6	440	21.4	12,746	4.9	4,581	1.8	△ 5,226	△ 2.0
26	19,583	7.6	25,505	9.9	35	1.8	446	22.3	12,672	4.9	4,463	1.7	△ 5,922	△ 2.3

注 平成26年は概数である。